

区民の声から考える

これからの千代田のコミュニティ

近所に知り合いが一人
もいない。何かあった
時に相談できる相手
が欲しいな

自分も何か役立てる
機会があれば参加
したいと思っている

仕事上の付き
合い以外の人
ともつながりたい

ほどよい距離感
で挨拶する程度
につながっている人
が増えたらいいな



変わりゆく地域の中で、どのようにつながることができるのか？

ちよだコミュニティラボに寄せられた区民のみなさんの声を基に一緒に考えてみませんか？

都心にある千代田区は多様な人が集う地域です。江戸時代からの伝統を受け継ぐ人、地域で長くお店をしている人、都心マンションの利便性から住み始めた人、子育て環境を選んだ人、地域で働く人や学ぶ学生、活動や起業の舞台として選ぶ人・・・

伝統と最新、暮らしとビジネスと遊び、一括りにはできない多様性が千代田の魅力であり、大きな可能性です。

それはつながりにおいても同様です。千代田には多様なつながりがあります。

同じ地域で同じ時間を暮らす・働く・学ぶ人が、違いを活かしながら、どのようにつながっているか、一緒に考えてみませんか？

多様な人、 多様なつながり





田近恭一さん

神田公園地区連合町会長
小川町三丁目西町会会長
神田公園地区連合町会HP
「大好き神田」担当

daisuki-kanda.com

他の人が知っていることを自分が知らないと感じ残されたように感じるでしょう。

神田公園地区連合町会ホームページ「大好き神田」では町の活動、人、祭り、歴史などの町の情報を公平に共有できるよう運営しています。私の町会でもホームページを通じた交流に取り組んでいます。



NPOで居住者関係づくりを重視した共同住宅コーポラティブハウスを建てています。私自身もそのうちの一棟で、助け合いを感じながら暮らしています



関真弓さん

NPO都市住宅とまちづくり
研究会事務局長



渡辺美鈴さん

CC x Tokyo 代表

歴史文化の宝庫で伝統的であるけれども、常に新たな動きが生まれている多彩な魅力のある千代田区です。地元観光というまち歩きを通して、地域を知り、ヒトをつなぐ活動をしています。

長谷川護さん

神田稲荷湯三代目(仮)



内神田で60年以上続く銭湯「稲荷湯」の3代目です。近隣住民の方だけでなく、ビジネスパーソンや外国人の方も利用している銭湯を、交流の場としてもっと活かしたいと考えています。

千代田にはつながりのきっかけをつくらせている人たちがいる



村上史郎さん



村上沙織さん

就学準備教室りーふ



コロナの中で子どもたちの体験や表現の機会が減っていることを何とかしたい！という思いから、自分達の手作りで「千代田こどもの芸術祭」を開催しました。区内施設を利用し、仲間や地域の方の協力を得て22年2・3月に「演奏会&ワークショップ」「子ども縁日」を行い、両日合わせて親子500名以上に参加いただきました。

考える&つくる“プランナー”、楽しませる“キャスト”として多くの方と一緒にすることができたことで、ゲストが思いきり楽しめる場になりました。



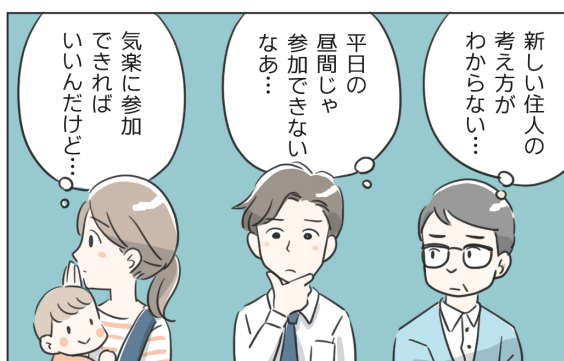
千代田区の多様な立場・分野でつながりをつくる人・活動を70以上紹介した冊子、活動紹介を、ちよだコミュニティラボのホームページで公開！
(裏表紙参照)

これからのコミュニティを考える 4つのポイント

～お互いを尊重し、協力できる関係をつくるために

様々な立場の区民のみなさんの声から、多様な人がつながっていく上で大切にしたい4つのポイントが見えてきました。

1. “同じである”ことを 前提とするのは難しい



地域に長く住み、町の様々な活動を通して互いを良く知る人と、地域への参加経験のない人では、

- ・考え方
- ・生活の中での優先度
- ・使える時間
- ・コミュニケーションの方法

も違います。

そもそもお互いのことをよく知りません。

「考え、思い、スタイルが**同じだから一緒にできる**」から「**違う**」ことを前提に理解しあう関係づくりが大切です。

2. まずは知り、 同じ場にいることから



同じ町でも、関係がない人のことは見えず、情報も入ってこないものです。

見えていない人を知る第一歩として区報や掲示板、またはインターネットで検索し、地域のイベントや講座の**情報にふれて**みましょう。そこで見つけたイベント等に参加、見学してみてもいいでしょう。

そこで、どのような人がいるのかを見て、自分と同世代や似た関心を持つ人がいたら声をかけてみる。1人2人と**顔見知り**ができるだけで、“地域”の見え方は変わってきます。

これまで

同じを前提につながる

同じ町で生まれ育つ、長く住む・働くなど、長い時間を共に過ごし、祭りなどの同じ経験を数多く分かち合う中でつながりを培ってきた。

これから

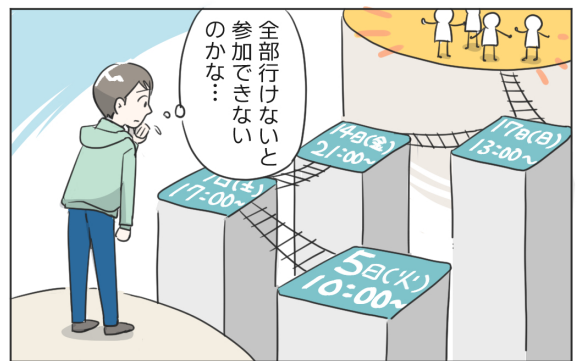
違いを前提につながる

長く住んでいる人も、最近住み始めた人も、町で短い時間しか過ごさない人が、お互いを深く知っておらず、共有の経験も少ない中で、一緒に町を守り立てていく。一緒に動く中でつながりを育てていく。

3. 話を聴く ＝相手への関心を大切に



4. 自分らしい関わり方を 共に考えていこう



地域には多種多様な経験をしてきた人がいます。自分とは違う経験をしてきた人から出る言葉は、自分の“普通”とは違うため、違和感や戸惑いを感じる時もあります。

そんな時、「自分とは違うから無理」「否定された」「わかってもらえない」と決めつけないで。
なぜその人はそう言うのか、何を大切に、どんな思いなのか、**相手の話を聴いて**みましょう。
違う世界の人を理解しあうには時間をかけたコミュニケーションも必要です。

これからも都心の千代田区は変化し続け、町を分かち合う人の多様性は高まっていくでしょう。多様性を活かすには、お互いの考えを聴き、お互いから学びあい、一緒に**新しい方法を生み出す**ことが大切です。

それぞれが自分らしく関わりながら、違いを超えてお互いに信頼し合える関係はどうしたら作れるか。
難しく、正解のない問題です。
対話し、共に考えることは、これからますます大切になっていくでしょう。

ひとりでは続かないが誰かと一緒に頑張れる。ゆるく、ほどよい人間関係があることで孤立する人が減るだろう。

身近に知り合いがいないため、何かあった時にどうしたらいいか、不安を感じている。

つながりがないとお互いに無関心になり、無責任な行動をとる人が増えてしまう。

今の千代田での コミュニティの 意味は？

祭りなどの伝統を守るのに新しい人も参加してほしい。消防団も江戸の町火消からの伝統もある。

コロナの中でも近所に住む人やお店の方たちとお互いに声を掛け合って、励まし合いながら日々過ごせているのは、日頃の町会活動での交流が土台としてあったからだと思う。

まち歩きイベントに参加し、身近な場所の歴史的な価値などを知り、改めて自分の地域を見直し、町との関わり方が変わりました。一緒に参加した人とつながり、ボランティアも始めました。

千代田のコミュニティについて

区民のみなさんからの声から、これからのコミュニティの課題が見えてきました。

祭りや行事が中止となり、交流が減り、地域とのつながりを感じづらくなった。

活動できない時間が続き、意欲が低下している。

コロナで町会による防犯や客引き防止のパトロールが中止になり、状況が悪化している。

コロナ禍を 超えていくには？

近隣のお年寄りの健康状態も地域イベント等がないとお会いすることがないことからわからなく、普段なら見守れるものが見守れなく、残念に思います。

地域の高齢化が進んでおり、1～2年のブランクが大きな影響を与えるのではないかな？

一度止まったことで活動を見直す機会になったのでは？

常連ばかりの活動には参加しづらい。イベントも誰も知らないと参加しづらい。新しい人に開かれた窓口や受付を明確にしてほしい。

助け合いは多様な形がある。これまでの町会を変えたくない人も、新しい団体で活動したい人も、互いを否定せず部分的につながれる関係をつくりたい。

新しく参加 する人を 増やすには？

自分も地域で活動をしたいと思うが、どんな活動をしているのか、どこに相談に行けばよいか、わからない

SNSなどオンラインの情報発信の充実を

20代～30代、中高生も参加しやすい取り組みがほしい。若者の交流が増えれば、地域への参画意識も高まるのでは。

共働きだと参集型の活動への参加は厳しい。オンラインツールを活用し、参加しやすい機会があれば。

これから考えていきたいこと

地域の担い手の中心メンバーと新しく住み始めた人とは年齢も居住年数もギャップが大きい。そこをつなぐ存在が大切なのは。

共働き、一人家族、Wケアなど様々な家庭がある現実
に従来の活動がそぐわなくなっているのではないかな。

これから見直して いく必要がある ことは？

千代田には能力やスキル、経験が豊富な人が多数いる。その人達の力を地域で活かせる機会、役割をもっと増やせるはず。

地域活動で無意識に行われることがあるパワハラ、セクハラ等のハラスメントをなくす

既存組織やサークルだけでなく、2～3人の少人数の集まりも区の施設を利用できれば、気楽に始められるのでは。

SDGsのため、地域福祉も環境問題も地域でしっかり考える必要がある。原点に戻って町会のあり方、防犯、防火、ゴミなど町会レベルで考えることが大切。

身近な地域の情報を知るために

「広報千代田」でイベントや講座をチェック！

千代田区の広報紙「広報千代田」では施策だけでなく、イベントや講座の案内も多く掲載されています。気になるものに参加してみても、どうでしょうか。

広報千代田 検索

ホームページやアプリでも読むことができます！

区の公式LINEに登録し、地域の情報にふれる

区のLINE公式アカウントでは子育て、福祉、イベント、地域などテーマを選んで情報を得ることができます。

アカウント名「千代田区」を友達登録しよう

区の図書館などの公式SNSをフォローする

日比谷図書文化館、九段生涯学習館、ちよだボランティアセンター、観光協会などは公式SNSで情報を発信しています。フォローし、情報を受け取りましょう。

区関連SNSの一覧 →
(千代田区サイトより)



自分の「地域」と「町会」を調べる

千代田区の各地域にある「区民館・出張所」では、各種手続きに加え、町会やコミュニティ活動についての相談もできます。
千代田区ホームページの最下段の「あなたのまちの地域情報」から自分の地域のページをチェックしてみましょう。町会マップ、地域別のホームページも紹介されています。

— あなたのまちの地域情報 —



- ① 麴町出張所地域
- ② 富士見出張所地域
- ③ 神保町出張所地域
- ④ 神田公園出張所地域
- ⑤ 万世橋出張所地域
- ⑥ 和泉橋出張所地域

千代田のコミュニティ活動を知りたい、出会う機会がほしい時は

ちよだコミュニティラボへ

chiyolab.jp



これからのコミュニティのあり方を、区民のみなさんと共に考え、トライし、より良い方法を生み出していく活動をしています。

ホームページでは、

- ・千代田のつながり探究ガイド
 - ・区内で多種多様なコミュニティ活動する方の活動紹介
 - ・コミュニティ活動に役立つ情報、講座
 - ・コミュニティ運営のヒント
- などを掲載しています。

地域活動についての問い合わせ、相談も受け付けています。お気軽にご連絡ください。

● コミュニティを考える講座・ゼミを開催

(例)「自分の経験・スキル、関心を地域で活かすには?」
「災害に強い、レジリエントなマンション・ライフを実現しよう」

● 分野・セクターを超えた出会いの場

「ちよだコミュニティラボライブ！」

活動団体、町会、大学、企業など、区内で多様な立場で活動する人が集い、出会い、交流する場です。地域で活動する人と知り合う機会としてご活用ください。

これからのコミュニティについてご意見をお寄せください

本冊子の内容は、区民や地域活動参加者の声を基に作成しました。コミュニティやコミュニティづくりに関するみなさんのお考え、地域活動に関する相談、これから行いたいことなど、みなさんの声をお寄せください！

(右記コード、またはちよだコミュニティラボのホームページから)



ちよだコミュニティラボ

2022年3月31日発行

事務局

千代田区コミュニティ総務課
株式会社エンパブリック

問い合わせ

千代田区コミュニティ総務課

03-5211-3656

komisoumu@city.chiyoda.lg.jp